

ドーマン博士の幼児開発法

植物人間と言われるほどの重度の脳障害児を、歩くことができるようにしたり、本が読めるようにしたりして、奇跡を行なった人として、各国のリーダーズダイジェスト誌に数回にわたって、掲載され、世界中に紹介されたグレーン・ドーマン博士は、研究のためにはどんなに酷暑極寒の地をも恐れず訪問されている方ですが、日本には昭和四十七年まで一度も訪問されたことがありませんでした。

ドーマン博士の来日は、昭和四十七年、日本リーダーズダイジェスト社が、私とドーマン博士との共著の刊行を企画したことから実現されたものです。

私は、昭和四十五年ごろから、リーダーズダイジェスト社の依頼で、“石井方式漢字教育”実践のための教材開発をしていましたところ、四十六年に講談社から『ドーマン博士の幼児開発法』が刊行されて、その幼児開発法の原理が、石井方式の教育原理とまったく同じであることがわかり、この際、共著を刊行してはどうか、ということになったからです。